

令和7年度 生活支援コーディネーター現任者研修 I

募 集 要 項

1 目的

高齢者の生活支援等サービスの体制整備の推進のため、「生活支援コーディネーター初任者研修」（平成 27 年度から平成 29 年度までは「生活支援コーディネーター養成研修」）（以下「初任者研修」という。）を受講された方のうち、各区市町村において指導的・中心的な役割を担う生活支援コーディネーターに対し、資源開発やネットワーク構築等に関する知識及び技術の習得・向上を図る研修を実施することにより、各区市町村における生活支援体制整備事業の推進を支援することを目的とします。

2 実施主体

東京都福祉局 高齢者施策推進部 在宅支援課（以下「都」という。）

※研修実施機関：社会福祉法人東京都社会福祉協議会（以下「東社協」という。）が都より委託を受けて実施します。

3 受講対象者・定員

下記①及び②に該当する生活支援コーディネーター60 名

① 区市町村からの推薦を受けた方

② 昨年度までに初任者研修（初任者研修と同等の区市町村の実施する研修を含む。）を修了又は今年度に受講予定の方

※（推奨）生活支援コーディネーターなど地域づくりに携わる業務経験が 1 年以上ある方

4 研修日程・会場

※原則として全単元を受講いただくことを前提とします。

※研修時間は全日程 10 時～16 時 30 分を予定しています。

単元	日 程	会 場
1	令和 7 年 8 月 22 日(金)	家の光会館 7 階コンベンションホール
2	令和 7 年 9 月 9 日(火)	飯田橋レインボービル 7 階大会議室
3	令和 7 年 10 月 8 日(水)	飯田橋レインボービル 7 階大会議室
4	令和 7 年 12 月 8 日(月)	家の光会館 7 階コンベンションホール
5	令和 8 年 1 月 22 日(木)	家の光会館 7 階コンベンションホール
6	令和 8 年 2 月 16 日(月)	飯田橋レインボービル 7 階大会議室

5 推薦方法及び提出期限

推薦の有無にかかわらず「受講者推薦票」【別紙】をメールにて東社協宛に送付してください。

提出期限 **令和 7 年 6 月 25 日(水)【必着】**

提出先 tokyo-seikatsushien@tcs.w.tvac.or.jp

6 推薦に当たっての注意事項

- 「受講者推薦票」に受講申込者を区市町村の推薦順位の高い順に、原則として 3 名までご記入ください。なお、推薦が定員を超えた場合、推薦順位第 2 位以下の方は受講できない場合がありますので予めご了承ください。
- 本研修は原則として全単元を受講いただくことを前提としておりますが、やむを得ず全単元を受講できない場合には、「受講者推薦票」(エ) 欄にてお知らせください。

- (3) 本研修では、研修当日及び研修後の生活支援コーディネーターの業務におけるネットワークづくりに活かしていただくため、「受講者推薦票」(ア)欄の「所属」、「氏名」及び(イ)欄にご記載いただいた内容を掲載した受講者名簿を配付する予定です。

※1 提供いただいた個人情報には本研修及び今後開催する予定の研修に関する以外には使用しません。

※2 研修中には氏名が記載された名札を着用していただく予定です。

7 受講者への決定通知

令和7年7月上旬に都が受講者の決定を行い、その決定に基づき東社協から区市町村に通知をします。

8 事前課題について

单元ごとに事前課題があります。事前課題は单元ごとにメールにて、受講者へ直接お送りする予定です。受講者への決定通知とともに事前課題をお知らせいたしますので、予めご承知おきください。

9 受講料

無料

10 研修カリキュラム ※今後、内容や構成等を変更する場合があります

8/22 (金) <单元1> 地域づくりの基本理念と全体像	
目的	生活支援コーディネーターとして取り組むべき地域づくりやネットワーク開発の基本理念と考え方、職場や自治体、地域における自分の立ち位置や役割を理解した上で、取り組みの全体像と基本的なプロセスをイメージできるようにする。また、組織内連携や関係者との共通認識(規範的統合)の必要性なども踏まえながら、生活支援コーディネーターに求められる姿勢や視点を理解する。
講師	加山 弾 氏(東洋大学)、小山 泰明 氏(立川市社会福祉協議会) 小林 美穂 氏(緑友会)
9/9 (火) <单元2> 協議の場づくりとネットワーキング	
目的	住民を基盤とした協議・協働の場である協議体の基本的なあり方を確認した上で、そこに多様な関係者がネットワークでつながることの意義と可能性を理解する。そして地域づくりに有効に機能する協議体を始動し運営する取り組みのあり方や、地域アセスメントやネットワークを通じて把握した地域課題を、協議体の合意形成を図りながら解決まで導くプロセスにおいて、支援者としてのコーディネーターが果たす役割等を学ぶ。
講師	山本 美香 氏(東洋大学)、小原 宗一 氏(北区社会福祉協議会)
10/8 (水) <单元3> 協議の場の運営とファシリテーション	
目的	住民を中心としつつ多様な主体により構成される協議体をはじめとしたあらゆる協議の場において、いかに多様性を活かしながら、目標を共有・相互理解した上で地域づくりにつなげていくか。実践演習等を通してファシリテーションの具体的な手法・技術を学び、実践力を身に着ける。
講師	広石 拓司 氏(株式会社エンパブリック) 岡村 美花 氏(武蔵村山市社会福祉協議会)
12/8 (月) <单元4> 地域アセスメントと行動計画の策定支援	
目的	地域に存するあらゆる資源(人材、団体、企業、つながり、環境、技術、ノウハウ等)を地域の社会資源としてとらえ、発掘・把握・(再)開発・活用する視点と手法を学ぶ。解決を図るべき地域課題を個別相談ケースやネットワーク等を通じて把握・分析し、既存の資源の活用や、課題に応じた新たな資源開発等により、地域づくりの主体である住民や関係者が解決に導くべく、行動計画を構想するまでの支援のプロセスを学ぶ。
講師	榊原 美樹 氏(明治学院大学)、大竹 宏和 氏(豊島区民社会福祉協議会)

1/22（木）＜单元5＞ 資源開発とソーシャルサポートネットワーク	
目的	地域アセスメントや協議体を通じたネットワーク等により把握した地域課題に対して、住民や関係者が協働して解決を図るための既存の社会資源の有効活用（ソーシャルサポートネットワーク）と、新たな社会資源開発の視点や手法を学ぶ。また地域づくりの活動を支える地域人材の発掘・育成の方法や、政策的思考に基づくソーシャルアクションの視点と基本的な手法を学ぶ。
講師	中島 修 氏(文京学院大学)、堀 崇樹 氏(足立区社会福祉協議会)
2/16（月）＜单元6＞ 活動・運営支援	
目的	住民主体による活動団体の立ち上げから、活動の活性化、課題解決までの具体的な実践事例も踏まえながら、新たに生み出された活動はもちろん、すでに地域で活動している団体などに対する、住民や地域の課題に沿った活動支援や、運営支援の視点や手法を学ぶ。
講師	熊田 博喜 氏(武蔵野大学)、水上 妙子 氏(文京区社会福祉協議会) 鈴木 博之 氏(特定非営利活動法人リビングサービス いちちょうの郷)

【カリキュラム検討会委員・講師】（五十音順、敬称略）

浦田 愛 （社会福祉法人 文京区社会福祉協議会 地域連携ステーション係長）
大竹 宏和 （社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会 共生社会課 主任）
岡村 美花 （社会福祉法人 武蔵村山市社会福祉協議会 福祉総務課 福祉総務課長）
小原 宗一 （社会福祉法人 北区社会福祉協議会 地域福祉係長）
加山 弾 （東洋大学 福祉社会デザイン学部 社会福祉学科 教授）
熊田 博喜 （武蔵野大学 人間科学部 社会福祉学科 教授）
小林 霧華 （社会福祉法人 板橋区社会福祉協議会 地域共生課 地域共生推進係）
小林 美穂 （社会福祉法人 緑友会 小平市地域包括支援センター小川ホーム センター長）
小山 泰明 （社会福祉法人 立川市社会福祉協議会 地域活動推進課 地域づくり係 係長）
榊原 美樹 （明治学院大学 社会学部 社会福祉学科 教授）
鈴木 博之 （特定非営利活動法人 リビングサービス いちちょうの郷）
中島 修 （文京学院大学 人間学部 人間福祉学科 教授）
野中 久美子 （東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加とヘルシーエイジング研究チーム）
広石 拓司 （株式会社エンパブリック 代表取締役）
堀 崇樹 （社会福祉法人 足立区社会福祉協議会 基幹地域包括支援センター東部 課長）
水上 妙子 （社会福祉法人 文京区社会福祉協議会 地域福祉推進係 主任）
山本 美香 （東洋大学 福祉社会デザイン学部 社会福祉学科 教授）

佐々木 慎吾 （東京都福祉局 高齢者施策推進部 在宅支援課長）

11 現任者研修Ⅱについて

今年度までに初任者研修を受講した方（ただし現任者研修Ⅰを受講済又は今年度受講予定の方を優先します。）を対象に、以下の通り開催いたします。

昨年度とは内容が異なりますのでご確認ください。

※内容や実施時期は都合により変更になる可能性があります。詳細は今後区市町村宛に送付予定の開催通知・募集要項等でご確認ください。

1日目 現場視察研修 / 2日目 振り返り会	
目的	・都内において地域づくりに取り組む生活支援コーディネーターや地域福祉コーディネーター等の専門職員に同行し、高齢者の支援に取り組んでいる団体や、高齢者が主体となって地域活動に取り組んでいる団体の活動を視察することで、地域づくりに向けた生活支援コーディネーターとしての立ち位置やかかわり方、支援の視点や手法を学ぶ。 ・現場視察研修の全コース終了後に、全体での視察報告・振り返りを実施する。
期間	現場視察研修：1日程（令和7年11月～令和8年1月頃） 振り返り会：1日程（令和8年2月頃）

12 その他

- （1）單元ごとにアンケートを実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。
- （2）生活支援コーディネーター初任者研修同様、修了証は発行しませんので、予めご了承ください。

13 連絡先

東京都社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉担当（瀬尾・西嶋・鈴木）
〒162-8953 東京都新宿区神楽河岸 1-1 飯田橋セントラルプラザ5階
TEL 03（3268）7186 E-mail tokyo-seikatsushien@tcsw.tvac.or.jp